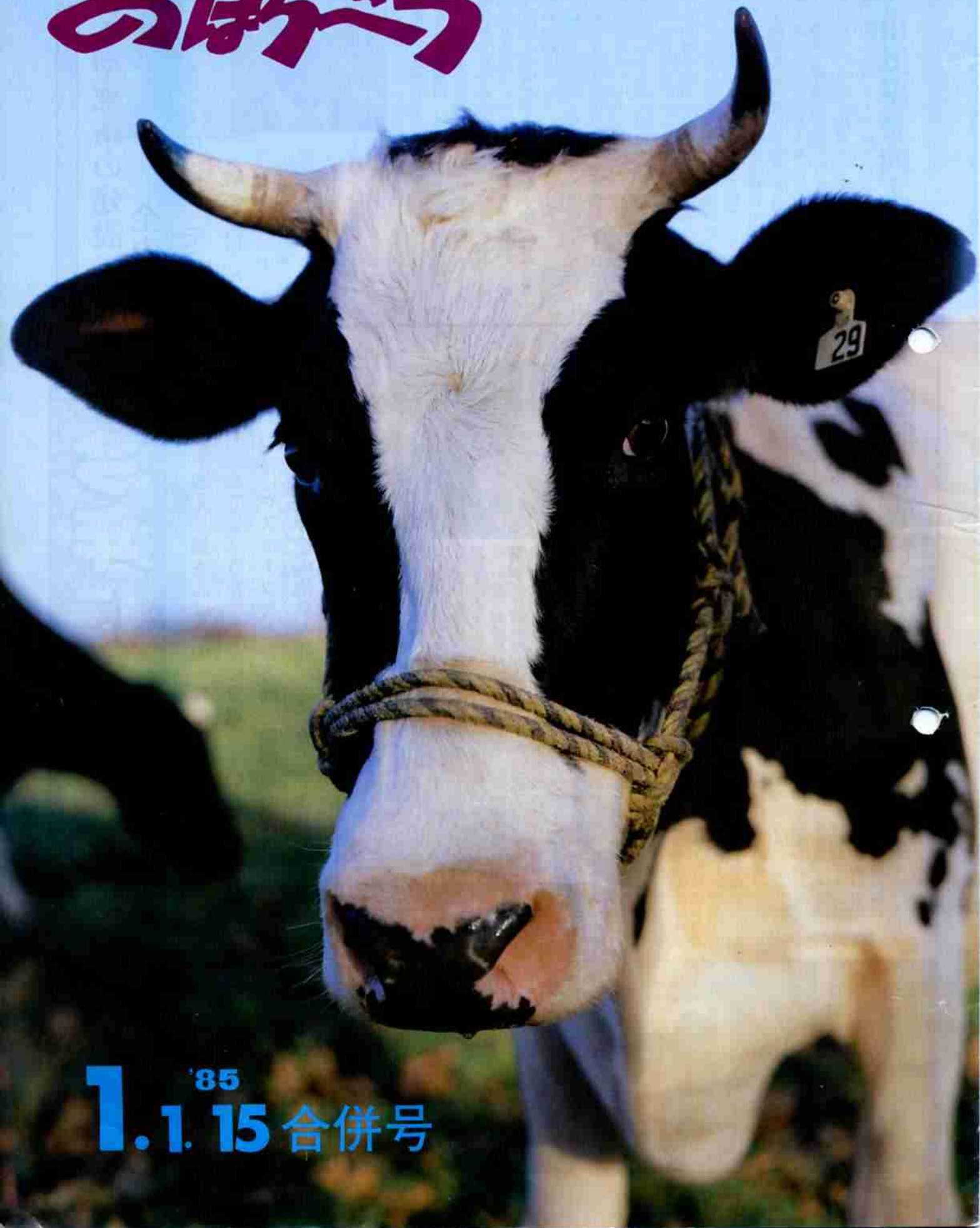


広 報

のぼり



1.1.15 '85 合併号

とうございます

自立型都市の建設に 全力を

登別市長中 浜 元三郎



新年明けましておめでとうございます。

迎春の喜びに夢と希望が満ち溢れた、輝かしい昭和六十年の年頭にあたり、皆様の御健勝と御多幸を心からお慶び申し上げます。

さて、長期的な不況の中で、本道は昨年後半から企業種間に格差はあるものの、全体として緩やかな回復が続いていますが、本市を取り巻く社会経済環境は決して好ましい状況ではありません。従って、今年度も市民生活の防衛と地域経済活性化のため最大限の努力をする覚悟です。

私は、市民ひとりひとりが生活に生きがいと希望を託せる街づくりを基調とする自立型都市の建設に全力を傾注し、真に豊かな登別市建設にあらゆる努力を尽すことが、私に与えられた使命であると考えています。

この様な観点から、日本工学院北海道専門学校、さらに昨年の十一月に誘致が決定した明星大学を核とする学園都市構想による街づくりと、限らない可能性を秘めた地熱エネルギー開発による豊かな実りある都市づくりにまい進したいと決意を新たにしています。

どうか、皆様には登別市政発展のため、旧年にもまして御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつと致します。

今年にかけける人、人

85年を迎え、皆さんはこの一年に、どのような夢や希望をいだいて

いるでしょうか。ここに登場していただいた五人の方は、昨年文

化やスポーツなど各方面で活躍された人たちです。新春にちなみ、

今後の抱負を語っていただきました。

全国大会へ燃える闘志



文くん 智下 木

「今年も、全国大会出場を目指しています」と、元気よく話すのは、警別中学校剣道部の木下主将。

警中剣道部は、昨年の全道中学校総合体育大会で悲願の初優勝を成し遂げ、剣士のヒノキ舞台である全国大会に出場を果たしました。

「初めて全国大会に出場したので、少し上がってしまいました。このくやしい気持ちを糧にし、けい古を積み重ねて、自分たちの得意技を磨いていきたい。」

そして、一戦一戦、相手を力十分發揮する前に負けてしまった。本当にくやしかったです。

「初めは、一戦一戦、相手を力十分發揮する前に負けてしまった。本当にくやしかったです。このくやしい気持ちを糧にし、けい古を積み重ねて、自分たちの得意技を磨いていきたい。」



練習に励む剣士たち

織物の製作に挑戦



きさん 佐々木

開拓時代の羊毛紡ぎを思い出し、オイルニットの手作りに取り組んでいる札内町の若竹婦人会。

昨年十一月に開催された市民文化祭に作品を出展、好評を博していました。

「一村一品運動の広がり刺激され、経験のあるオイルニット作りをはじめたわ。」

「今年、織物の製作に挑戦し、地域の特産品作りの一助になればと思っています。」と、意欲的です。



おしゃべりをしながらのオイルニット作り

あけましておめで

市民福祉向上に 努力を

登別市議会議長室 久吉



昭和六十年の新春を迎えるにあたり、市議会を代表して市民の皆様につつしんでごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、依然として非常に厳しい不況が続き、特に市内に所在する各種中小企業の閉鎖により誠に憂慮すべき事態が発生し、この影響は働く従業員のみなならず地域商店街にも波及を致し、市民の皆様にとりまして不安な年であったらうと推察致します。

しかしこのような情勢の中においても、鉄南ふれあいセンターの建設や驚別公民館の建設など公共事業の着手に積極的な努力をしております。また、将来展望として地熱開発の調査さらに、学校誘致では明星大学の誘致が決定されるなど、明るい展望も見られ、諸政策が着実に進展しておりますことは誠に喜ばしい限りであります。

今日における地方自治体の財政事情は非常に厳しい中で諸問題は山積しており、その課題を消化するにはかなりの困難が予想されますが、今後も議会においては理事者とともに政府・国会等に強力な運動を展開し、市民福祉向上のためより一層の努力をする決意を新たにしています。

どうか、本年も旧に倍して御支援と御協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつと致します。

油絵にかける情熱



松本 貢さん

「絵は、生きがいというより生活そのものなんです」——四年前、東京の公募展に初入選、これからという時に、脳イッ血で倒れ、その後遺症で右半身が不自由になった松本さん。

「入選しました」「はじめは右手のように思い通りに絵を描くことが出来ず、右と左の世界の違いに戸惑う毎日でしたが、油絵にかける情熱は、だれにも負けないつもりで努力もしました」

今年、「自分の納得のいく作品を創り上げ、市内で個展を開きたい」と、抱負を語っています。



作品が展示されている風景

チームワークでアタック



中村 奈美さん

昨年の二月、札幌で開かれた第十五回全国高校バレーボール選抜優勝大会・南北北海道大会に室蘭地区代表として参加、五十五年について二度目の準優勝をした登別大谷高校女子バレー部。

「練習は、厳しいけれど先輩たちの築いてきた伝統を私たちが守ろうと、みんなが練習に励んでいます。また、部員が七人しかいないので、お互いにケガや病気をしないようにと、気をつけています。」と、中村キャプテン。



円陣を組んで元気に「ファイト」

独創性豊かな作品づくり



小崎 正 司さん

昨年の四月、プロへの登竜門と言われる日本工芸会の伝統工芸新作展に出品した象嵌漆器が見事入選を果たした小崎さん。

「奥の深い神秘的な陶芸の世界に魅せられ、ろくろに取組んで十二年になります。入選した象嵌漆器は、数えきれないほどの失敗を繰り返して完成した作品だけに、喜びもひとしおです。」

「独創性豊かな作品づくりを目指したい」と話しています。



ろくろに取り組んでいる様子

いい顔 ンザイ

▶齊藤史浩さん (11歳)
昭和48年10月15日生/
東小5年・幌別町
「クラブ活動の野球で
ピッチャーになれるよう
に猛練習する。」



▼小川雅之さん (23歳)
昭和36年6月29日生/
会社員・若山町
「美容室に勤めていま
す。目標は、自分の店を
持つことです。」

▼鳴海けい子さん (35歳)
昭和24年12月31日生/
主婦・片倉町
「今年も、楽しい家庭
を作りたいと思っていま
す。」



◀相坂恵ちゃん (11歳)
昭和48年6月10日生/
富岸小5年・新生町
「ソロバンの練習を毎日
して、早く進級したい
です。本年の目標は、準
段を取ることです。」



▼相澤ゆみさん (59歳)
大正14年4月12日生/
会社員・新川町
「身体は、じょうぶだ
しまだまだ現役で働きた
いと思っています。」

▼唐神理砂子ちゃん (11歳)
昭和48年11月20日生/
温泉小5年・登別温泉町
「もうすぐ、6年生に
なるので、自分のペース
で勉強を頑張ります。」



▶石谷留次郎さん (83歳)
明治34年3月20日生/
無職・登別東町
「孫の顔を見ながら、
飲む晩酌がなによりも楽
しみ。」



◀橋本純子さん (23歳)
昭和36年5月12日生/
会社員・常盤町
「今年の秋に結婚する
予定なので、料理などを
習いたいです。」



▼大場久雄さん (59歳)
大正14年10月1日生/
無職・登別本町
「60年ひとくぎりでも
あるし、町内会活動を通
じ子どもや老人の交通事
故撲滅に役に立ちたいと
思っています。」

◀杉本敦子さん (23歳)
昭和36年9月26日生/
銀行員・富士町
「60年、私が主役なの
だからガンパローと思っ
ています。」



◀津村隆さん (47歳)
昭和12年8月12日生/
商店経営・緑町
「一步一步着実に進む
牛のように、私も毎日の
生活を大切にしたいです
ね。」



明けておめでとうござい
ます。今年、十二支で言う
と「うし年」になります。
そこで、今年八十四歳を
むかえるおじいちゃんを
はじめ、年男・年女にあ
たる七代の方がたに登
場いただき、今年の抱負
などを聞かせてください。

◀田中孝行さん (23歳)
昭和36年12月16日生/
会社員・登別東町
「バリバリ仕事をして
2児の良き父親になりたい
と思っています。」



みんないい '85 バ



▲金崎若菜ちゃん(11歳)
昭和48年5月18日生/
札幌小5年・札幌町
「小体連のバレーボール大会で、優勝したいです。」



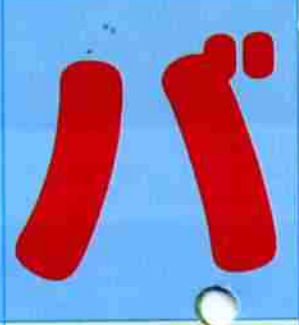
▲富田千秋さん(35歳)
昭和24年9月30日生/
会社員・鷺別町
「家庭と会社、そして地域社会が明るくなるよう全力投球したい。」



▲河原匡志くん(11歳)
昭和48年11月1日生/
若草小5年・若草町
「剣道を習っているので、今年こそ選手になるようガンバルぞ。」



▲鈴木恵美子さん(23歳)
昭和36年4月7日生/
会社員・美園町
「今年は、私の年なので、しっかりした考え方を持って、一層充実した生活をしていきたいと思っています。」



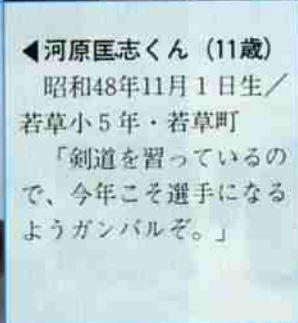
をインタビュートしてみました。
今年も、皆さんにとりまして喜びあふれる素晴らしい年になることをお祈りしています。



▲野呂田キヨノさん(47歳)
昭和12年6月27日生/
主婦・富浦町
「家族全員が、健康で1年を過ごせたらと思っています。」



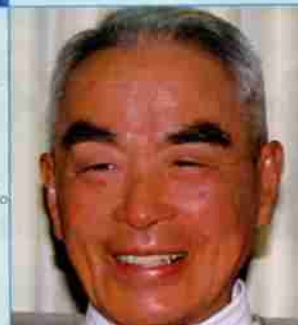
▲高野橋幸子さん(35歳)
昭和24年11月26日生/
美容室経営・柏木町
「美容室をはじめて3ヵ月、いつまでもお客様に愛される店づくりをモットーに頑張っています。」



▲川又鉄一さん(47歳)
昭和12年7月29日生/
燃料店経営・中央町
「57年に中央ライオンズクラブに入会しました。本年は、ボランティア活動を積極的に行いたい。」



▲山下カノイさん(71歳)
大正2年7月25日生/
無職・栄町
「畑で野菜や花を作っていると、とても楽しい。今年も来年もずっと続けたいね。」



▲星 徳二さん(71歳)
大正2年11月13日生/
無職・幸町
「今年は、のんびりと夫婦そろって旅行に出かけたいですね。」



▲松山哲男さん(35歳)
昭和24年9月22日生/
会社経営・千歳町
「健康が第1。それから景気も良くなってほしいと思っています。」



の殿堂」として昭和58年に開
館の入館者は約14万人。



◎日本工学院北海道専門学校
学園都市構想の第1弾として昭和57年に
開校。学生数は約千人。



◎福祉センター
の交流の拠点として昭和56年に
お年寄りの憩いの場、健康増進や健
康施設として、また身障者も利用で
福祉施設として活用されています。



◎郷土資料館
まぼろしの名城「白石城」をモデルに昭
和56年開館。登別市の古代から明治初期の
開拓、そして現代へと一発展の歩みを伝え、
私たちの心のふるさとになっています。



◎公共下水道事業
中央地区を中心に着々と下水道
管の埋設が進められています。

みませんか郷土登別を

住み良い街づくりに着実な前進



◎市営水泳プール
プールの規模は縦25m、横17mで
8コース。昭和56年から一般に開放。

◎千歳配水池
幌別地区の慢性的な水不足を解消
するため昭和56年に設置しました。

文化施設、福祉施設、生活基盤の整備などは、住
み良い街づくりにとってなくてはならないものです。
またその整備状況は魅力ある街としてのバロメータ
ーにもなっています。

登別市の場合はどうでしょうか。

今号では、過去五カ年間で整備された主な施設を
写真で紹介し、着実に発展しているふるさと登別の
姿を特集しました。

これら施設整備のほか、高速道路や道道の整備に
よる交通体系の確立。明星大学の誘致など、登別市
は将来への展望が大きく広がっています。

いま、あらためて見直してみませんか、郷土登別
を。



中央地区



◎中央地区テレビ中継局
中央地域約4500世帯のテレビ
難視聴を解消。



◎市民会館
「市民文化
館。昨年1年



登別地区



◎対話集会
施設の充実だけでなく、地
域住民との対話なども活発に
行われています。



◎老人
お年
オープ
康管理
きる総



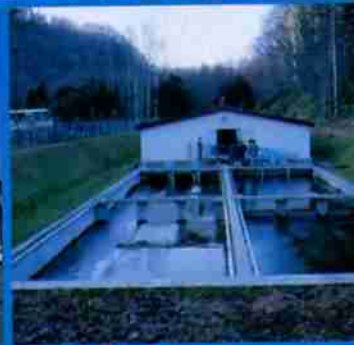
見直して



◎川上総合公園
市民が大勢集って楽しめる大規模な総合公園を造成中
です。既に多目的広場が完成し、今年開放する予定です。



◎登別駅前ロータリー広場
登別温泉の窓口でもある国鉄登別駅
前の美観を因るため昭和56年に設置。



◎登別サケマスふ化場
捕獲一方の漁業から育てる漁
の脱皮を図るため、昭和56年に



登別地区

見直してみませ んか 郷土登別を

住み良い街づくり
に
着
実
な
前
進



◎公営住宅
公営住宅への入居希望者は非常に多く毎年建設しています。写真は新生団地。



◎若草こ線人道橋
若草町二丁目から栄町一丁目に至るこ線人道橋。昭和五十五年に完成。



◎消防署登別支庁舎
登別地区の生命と財産を守るため活躍しています。昭和五十九年に完成。



◎老人憩の家
現在三十六ヶ所のお年寄りの交流の場として、町内会の集会所として活用されています。



◎カルルス温泉「溪園」
散策並木や池、ゲートボールコートもある保養温泉地にふさわしい小公園です。



◎奥の湯公園
登別温泉を訪れる旅行者の心をなごませます公園として展望台等を整備しています。



登別温泉地区



亀田記念公園



◎美園児童センター
昭和五十七年オープン。
これまでの児童館よりひと
まわり大きく、内部には遊
戯室、集会室、図書室など
があります。



◎緑陽中学校
市内七番目の中学校
として昭和五十八年開校。
学年五学級で生徒数六五五名。



◎都市公園
現在市内の都市公園は二
十一カ所。写真は若草町二
丁目のさわやか公園です。



◎特養老人ホーム「緑風園」
昭和五十八年オープン。
豊かな緑に囲まれた環境の
中、嘱託医師、療母、看護
婦などが親身に入所者のお
世話にあたっています。

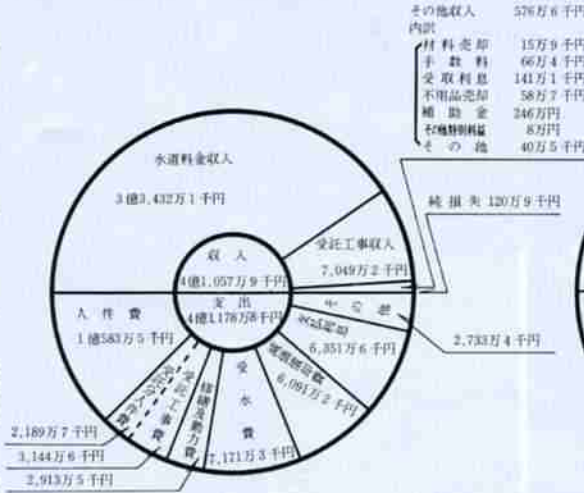


◎登別温泉祇園街
シェルターや化粧ブロッ
クの設置で情緒豊かな環境
に変身しました。

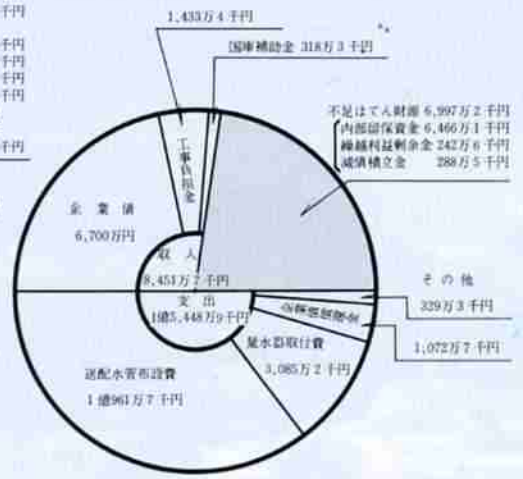
昭和58年度

水道事業会計決算状況

営業的収支決算



施設整備的収支決算



年度	配水量(m ³)	給水量(m ³)	有収率(%)	給水収益(円)	供給単価(円)	給水原価(円)	給水区域内人口(人)	給水人口(人)	普及率(%)
57	4,824,915	3,739,597	77.51	330,208,314	88.30	90.57	57,553	55,366	96.20
58	4,746,879	3,769,022	79.40	334,321,426	88.70	94.50	58,235	56,138	96.40
差	△ 78,036	29,425	1.89	4,113,112	0.40	4.33	682	772	0.20

五十八年度の水道事業会計の概況を次のとおりお知らせします。

(給水状況)

登別市の給水人口は五万六千三百三十八人となり、年間給水量も三百七十六万九千二百二十二立方メートルと、長期的な経済不況や冷夏、災害の影響を受けながらも前年に比べ二十九万四千二十五立方メートル増量となりました。皆さんが一日に使用した量は、一人平均百

八十四リットルとなっています。

(収支状況)

五十八年度は、営業的収支で二百二十万の純損失を生じました。このことから、水道料金の改定と経費節減を目的に隔月検針徴収制度を五十九年度から実施しており、加えて五十八年四月から導入したOCR(光学文字読取装置)も経費節減の一助となっています。また、昨年九月の集中豪雨で

水道施設にも大きな被害が発生し、全市の断水状態になりましたが、市民の方々ははじめ関係諸団体のご協力を得て復旧いたしましたことと心からお礼を申し上げます。

※事務処理の省力化と経費節減のため、水道料金の口座振替制度にご協力ください。水道に関するお問い合わせは、水道部給水係へ。(TEL 2111内線338)

郷土史探訪

金比羅宮の絵馬から登別市の開拓を訪ねて

「讃岐の金比羅宮」で有名な金比羅宮は、成田の不動、伊勢神宮とともに古くから全国的に知られた神社で、特に江戸期、十返舎一九・滝沢馬琴や小林一茶、与謝蕪村らの読物、文人墨客の他、西国大名が参勤交替のとき立寄る所となり、門前町として全国に信仰圏が広まったことから今も参詣の人が絶えません。

この有名な金比羅宮に「北海道札幌県胆振郡幌別郡開墾略図」と書いた絵馬が奉納され飾られています。奉納は明治十三年二月吉日、当時の愛媛県から明治十四・五年に登別へ移住開拓した人達によるもので、横約二メートル、縦一・二メートル余の大額額です。絵馬から判読される者約四十七名の出身氏名が記され、今から百数年前の登別の町並みの中で開墾の姿を描き出しているという大変貴重なものです。

町史によると明治十四年の登別の総戸数六十七戸で人口二百六十七人、それが明治十六年の戸数百二十九戸、四百五十人に増大したことは絵馬に記入されている移住者が家族を伴ない居住していることを示しています。

それでは「金比羅宮の絵馬」を奉納した人々の移住開拓の状況はどうだったのでしょうか。



幌別郡移民より金比羅宮奉納の絵馬(明治16年)

道したようですが、当時は途中停泊しながらのんびり日を見て航海するので日数も十日以上を費しています。

函館から登別への経路は、第一に徒歩で噴火湾沿いに歩く、第二に函館から森まで歩き森から室蘭へ船便を利用する。第三は直接函館から室蘭へ船便を利用し登別へ来るという方法でした。

第一の方法は馬車の発達していない時代ですから家財を運べず、第三の方法は直接室蘭まで来る最良の方法ですが、月三回程度小型の船が天候をみて航海するのでいづれ出航するのかわからないというものでした。

運が良ければいいのですが、結局彼らは函館で二十日間の滞在を体験しました。

入植した絵馬の人たちは、幌別川、来馬川沿いに入植した人もいますが、札幌本道(現三十二号線)を開口に出側へ向ってオカシベツ川付近から富浦の方へ入植した人が多いようで、最初に建てた家も手頃の丈夫な股木を六本作って主柱とし、股木に丸太棒を渡して棟木としたところで葺き刈って屋根をふくという簡単なもので全くの仮小屋でした。

入植した当時の東米馬(常盤町一・二丁目)は千古斧を入れぬう。そうたる樹木におおわれて、ナラ・桂・せんの木などの大木は用意していたノコギリやナタでは全く歯がたらず、大木の下に密生する熊笹もクワやカマでは無理がありました。結局は類焼しないように周囲の木を倒し、笹や小枝を切って焼き畑にするという事が最も取り早い方法で、開拓者が語るほんの一部ですが寒い冬に向う当時の開拓者の心境は現在の私達に想像できない苦労があったと思います。

食をし、荷物を函館の道具屋に預け、必要最少の荷物を持って第二の方法、森まで歩き室蘭へ渡っています。運の悪い例ですが、目的地の登別に着いたのは、明治十五年四月五日に出発してから翌月の五月八日ということから三十余日にも及んでいます。

当時の幌別は札幌本道を中心に古くから居住していた人たちの家屋が海岸方向を中心に約五十戸、片倉家田家臣五戸、南部藩家臣三戸、駅通一戸、その他数戸に神社口付近、富浦、登別川の旧道沿いに家が点々とあるような淋しい村でした。

登別市郷土文化研究会
宮武 神一記

建設工事などの 指名願いを受付

市では、六十・六十一年度の市の建設工事、設計、測量、物品などに入札参加を希望する事業者の資格審査申請を次のとおり受け付けます。

- ▽提出先 建設工事・設計・測量
- ▽市役所契約管理課契約係(Ⅱ)
- ⑤2111内線2118
- ▽物品
- ⑤2111内線2115
- ▽市役所財政課用度管理係(Ⅱ)
- ⑤2111内線2115
- ▽提出書類 建設工事・設計・測量
- ⑤2111内線2118
- ※北海道様式(登別建設協会)

保育所入所児童を 募集します



庭が次のような場合
●母親が猛り家庭外で仕事をした
り、家庭内で子供と離れて家事
以外の仕事をするため保育でき
ない家庭
●母親のいない家庭
●母親の出産前後であったり、病
気・心身の障害で保育できない
家庭

多数おこしくください

市民会館での初釜

- ▽六十年度市立保育所の入所児童を募集します。
- ▽申請書交付・受付期間 1月7日～19日まで
- ▽申請書交付・受付場所 社会課
- ▽母子児童係、各支所
- ▽入所資格 満3歳以上(札幌別東・富士・桜木・栄町・鷺別保育所は生後6ヵ月以上)でその家

保育名	募集人員
登別温泉保育所	60
登別保育所	90
高浦保育所	30
幌別東保育所	120
高士保育所	120
桜木保育所	60
栄町保育所	120
鷺別保育所	120
美園保育所	60

一応募ください
美術協会公募展
登別美術協会では、市民会館で

年末調整の書類 提出はお早めに

年末調整事務はお済みでしょうか。59年中の年末調整事務を終えた事業者の方は、1月31日(木)までに各書類を市役所市民税係へ提出することになって

提出の際は、次の点にご注意ください。
◎給与支払報告書のうち「本人交付用」は従業員の方に交付し、残りの給与支払報告書に総括表をつけて市役所まで提出してください。

ただし、昭和60年1月1日現在、登別市以外に居住していた方の給与支払報告書は、その住所地の市町村宛に直接送付してください。

◎給与支払報告書や法定調書を提出後、記載誤りがあった場合は欄外に「訂正分」と朱書きをして再提出してください。
※締切り間近は混み合いますので、できるだけお早めに提出してください。

- ▽日時 1月13日(日)午前10時～午後3時まで
- ▽場所 市民会館
- ▽会場 千円
- ▽内容 濃茶・高山マサ子、薄茶
- ▽後藤節子
- ▽問合せ 市社会教育課(Ⅱ)⑧1100

開催する第6回美術協会公募展の出品作品を募集します。応募要領は次の通りです。多数ご応募ください。

- ▽種別 油絵、水彩、版画、彫塑、工芸
- ▽大きさ 制限はありません
- ▽応募資格 高校生以上の方
- ▽出品料 千円(学生は五百円)
- ▽賞 入選作品の中から登別美術協会賞、優秀賞
- ▽作品受付 60年1月20日(日)午前9時～正午まで、市民会館2階児童室で受け付けます。出品作品には、適当な額装を行い裏面には住所、氏名、題名、電話番号を記入または添付してください。

おめでとうはたち 成人式のご案内

市では、新たに成人として巣立つ若人の輝かしい将来を祝い次のとおり式典を行います。

- ▽日時 1月15日(火)午後1時～1時40分(受け付けは、12時30分から)

映画会のご案内

市教育委員会では、次のとおり親子名画劇場を開催します。お気軽におこしくください。

- ▽上映映画 小公子(リトル・プリンス)他
- ▽日時 1月13日(日)
- 1回目：午前10時30分から
- 2回目：午後1時30分から
- ▽場所 市民会館
- ▽入場料 子供無料(大人未定)
- ▽問合せ 市民会館(Ⅱ)⑧1100

市民会館の 2月・催しもの

日	催しもの	時間	料金	問い合わせ先
2	デュークエイセス うたの夕べ	開場 17:00 開演 18:00	1,500円	市民会館 8-1100 内線 20
10	親子名画劇場 チエチエメニ号の 冒険。他	上映開始 ①10:30 ②13:30	子供無料 大人未定	市民会館 8-1100 内線 20
24	登別市長杯争奪 民謡大会	開場 10:30 開演 11:30	前売 800円 当日 1,000円	君倉誠一 5-8147

母子・児童相談

お子さんを心身ともに健やかに育てるための相談会が、次のとおり開催されます。お気軽におこしくください。

- ▽日時 1月17日(木)午前9時30分～午後4時
- ▽場所 青少年会館(市立図書館横)
- ▽相談員 北海道室蘭児童相談所職員
- ▽相談内容 しつけ、ことばの障害、ちえおくれ、ゼンク、偏食、登校拒否など
- ▽申込・問合せ 市役所市民相談室(Ⅱ)⑤2111内線2112



無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚など法律問題でお困りの方はご利用ください。札幌弁護士会室蘭支部の弁護士二人が相談をお受けします。

相談ご希望の方は、あらかじめ申し込みください。

- ▽日時 2月2日(土)午前9時から
- ▽場所 市役所第二庁舎
- ▽定員 16人(定員になりしだい締め切ります)
- ▽申込先 公聴広報課(Ⅱ)⑤2111内線2222
- ※裁判や調停中のものは、受け付けできません。

室蘭・登別 総合健診センター

室蘭・登別総合健診センターでは、総合健診や成人病健診、婦科健診などの人間ドック、移動検診車「さつき号」による胃がん・結核検診を行っています。

病気の予知・予防と早期発見のため、年に一度は定期健康診断を受けましょう。

▽人間ドック 最新の医療機器とコンピュータで多種、多項目の健康診断を短時間で行います。

▽移動検診車「さつき号」 胃部と胸部のレントゲン撮影ができるさつき号は、一定の受診者が集まり次第運行します。

▽申込方法 いずれも予約制です。電話などで申し込みください。

▽申込・問合先 勸室蘭・登別総合健診センター（室蘭市東町4-20-6 Ⅱ0143-4515759）

母親学級

母親となられる方のために、妊娠中の生理や分娩の経過、産後の生活など内容を5回にかけて講話、実習を行います。

妊娠にともなう不安の解消や出産に向けての心構え、品物の準備にお役立てください。

定員は五十名で、五日間受講できる妊婦に限ります。

▽会場 労働福祉センター
▽受付時間 午後1時から

ふれあう心の合言葉

「心身をきたえよく働いて、活気あふれる豊かなまちをつくりましょう。」

▽申込先 保健衛生課（Ⅱ⑤211内線2550）

〈母親学級日程〉

コース	1	2	3	4	5
月日	2月13日	2月15日	2月19日	2月22日	2月26日
担当	産婦人科医	小児科医 養育士	歯科医	助産婦	保健婦
内容	●妊娠中の生理経過 ●妊娠中の健康（検診）	●新生児の発育 ●育児の考え方 ●母乳のとり方 ●食生活	●妊娠中の衛生 ●歯に関する知識	●赤ちゃんの入れ方 ●産後の生活と家族計画	●妊婦体操 ●分娩の準備 ●児の準備

予防接種

▽三種混合（百日せき、ジフテリア、破傷風）
▽対象者 生後24ヵ月から48ヵ月未満の幼児

▽接種の方法 第一期：3週間から8週間の間隔で3回接種、第二期：一期終了後12ヵ月から18ヵ月までの間で1回接種

▽ツベルクリン反応
▽対象者 生後3ヵ月から48ヵ月未満の乳幼児

▽接種の方法 一回接種
▽BCG
ツベルクリン接種2日後、反応が陰性の人

▽麻しん（はしか）
▽対象者 生後12ヵ月から42ヵ月

〈予防接種日程〉

会場	受付時間	予 防 接 種 名		
		3種混合	ツベルクリン	BCG
ひまわり園	13:00~13:20	2月22日	2月13日	2月15日
鶯別公民館	13:30~14:00	2月22日	2月13日	2月15日
登別公民館 (登別支所隣)	13:00~13:30			
国立登別病院	14:00~14:20			
労働福祉センター (市民ホール隣)	13:00~13:30	2月21日	2月5日	2月7日

不用品ダイヤル市



⑤2111
内線257

おわけします(売り)
二段ベット、セミダブルベット、食器棚、ベビーカー、電気カーペット、オルガン、エレクトーン、冬タイヤ・ホイール付(500-12、600-12)、バスオール、ガス風呂一式(釜、浴槽)、冷蔵庫(2ドア、3ドア)、百科辞典、写真引伸器、サウナ、ウスキー

ゆずってください(買い)
学習机、ステレオ、ジュースキサー、古い掛時計、ブランド

健康相談

▽実施月日
2月7日：鶯別公民館
2月14日：労働福祉センター
2月21日：婦人センター

▽受付時間
午前の部：10時~10時30分
午後の部：1時~1時30分

▽内容 午前：成人病、妊婦、家族計画、幼児(7ヵ月児を除く)の各相談。午後：7ヵ月児相談(59年7月出生児)

3ヵ月検診

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程・会場・対象地区
1月23日：婦人センター(登別、登別温泉地区)
1月24日：鶯別公民館(鶯別地区)

▽対象児 59年10月出生児(婦人センターは、59年9月、10月出生児)

▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

3歳児健康診査

▽内容 心身の発育状況、歯科検診、尿検査、栄養指導、生活指導

▽実施月日・会場 2月6日/労働福祉センター

▽受付時間・対象地区
午前10時~11時：中央、柏木、常盤、米馬、札内、幌別、千歳、幸、新栄

午後1時~2時：富士、片倉、新川、鉾山、桜木、川上、青葉、緑、若山1・2丁目

▽対象児 56年10月1日~57年1月31日までの出生児と前回受診もれの幼児(ただし、56年6月1日~9月30日までの出生児で満4歳児を除く)

2歳児歯科検診

▽内容 歯科医師、歯科衛生士、保健婦による講話、歯科検診、フッ素塗布の予約、歯磨き指導

▽対象児 57年10月~12月までの出生児

▽持参するもの 母子健康手帳、現在使用中の歯ブラシ

▽受付時間 午後12時30分~12時45分

〈2歳児歯科検診日程〉

実施月日	会場	対象地区
1月28日	鶯別公民館	若草町、新生町、富岸町、栄町、若山町3・4丁目
29日	労働福祉センター	中央町、柏木町、常盤町、米馬町、札内町、幌別町、千歳町、幸町、新栄町
30日	婦人センター	カスルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町、登別東町、登別本町、登別西町、高瀬町
31日	鶯別公民館	鶯別町、美園町、上鶯別町、大和町
2月1日	労働福祉センター	高子町、片倉町、新川町、鉾山町、桜木町、川上町、青葉町、緑町、若山町1・2丁目

献血にご協力を

次の日程で街頭での献血を行います。皆さんのご協力をお願いします。

▽1月16日(水) 午後1時~4時30分まで/めいんぼう(幌別駅前)